

令和3年度 学校教育自己診断分析結果

【回答率】 生徒 92.0% 保護者 21.0% 教職員 72.0%

< () 内の数値は肯定的回答率を示している。>

1 学校生活

生徒：学校へ行くのが楽しい。(81.1%)

【分析】

前年度より1ポイント減少している。今後、学校生活への満足度を向上させるために改善していく。

2 学習指導

生徒：授業はICT機器等を活用して、わかりやすく行われている。(86.3%)

教員：生徒の実態に踏まえ、個別の指導内容・指導方法について工夫・改善を行っている。(83.7%)

【分析】

前年度より生徒は9ポイント、教員は3ポイント上昇している。これは、多くの教員がICT機器を活用し、授業改善に努めている結果であると考えられる。

3 生徒指導

生徒：先生の指導は納得できる。(77.8%)

保護者：学校の生徒指導の方針は共感できる。(86.4%)

【分析】

前年度より生徒は15ポイント、保護者は16ポイント上昇している。

これは、以前よりも教員が教育活動全体を通じて生徒、保護者との信頼関係を大切にし、丁寧な対応や指導を行っているからだと思われる。

4 進路指導

生徒：将来の進路や生き方について考える機会がある。(91.0%)

保護者：学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。(93.2%)

【分析】

前年度より生徒は1ポイント、保護者は4ポイント上昇している。

このように、生徒、保護者から高い肯定的回答が得られているのは、入学時よりキャリア教育の充実を図り、生徒に丁寧な指導、支援を行っている結果である。

5 教育相談

生徒：先生はいじめについて、私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(89.8%)

担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる。(82.2%)

保護者：学校はいじめについて、子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。

(90.3%)

学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる(90.3%)

教員：いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。

(87.7%)

【分析】

昨年度に比べ、生徒、保護者、教員のポイントは上昇している。日頃から登校時の挨拶指導を始め、声掛けなど、生徒の心に寄り添う指導を全教職員で行っており、生徒、保護者との信頼関係が構築されていると思われる。今後も支援体制の強化に取り組んでいく。

6 人権教育

生徒：命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。(88.7%)

保護者：学校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。
(90.3%)

【分析】

前年度より生徒は1ポイント、保護者は4ポイント上昇している。

外部講師を招聘しての講演会や人権HRの充実を図っている成果であると考えられる。

今後、さらに人権教育の充実を図り、生徒の人権感覚や人権意識の向上に努めていきたい。

7 行事・防災教育

生徒：学校行事（体育祭・文化祭・修学旅行）は楽しく行えるように工夫されている。(76.9%)

学校で事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。
(79.3%)

保護者：この学校の学校行事(体育祭・文化祭・授業参観等)に参加したことがある。(36.9%)

教員：学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。(57.1%)

【分析】

学校行事に関して、保護者は20ポイント減少と大幅に減少している。また、防災に関して前年度より生徒は5ポイント減少している。これらは、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事が中止になることが多かったり、防災避難訓練がグラウンドでの集合型でなく放送等で行ったことによるものだと考えられる。